

第39回動物臨床医学会年次大会において、院長がセミナー講演、小川先生と山木先生が研究発表をしました。
また、小動物外科専門誌「SURGEON」の歯科特集を執筆・監修しました。

第39回動物臨床医学会年次大会

日時：11月16日（金）から18日（日）

場所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

院長：セミナー講演

「臨床医としての抜歯の適応基準を知ろう！」

「どうやって治療する？歯の修復法を学ぼう」

1. 歯髄を保護した治療法（保存修復、覆罩、断髄（生活歯髄切断術））」

小川先生：研究発表

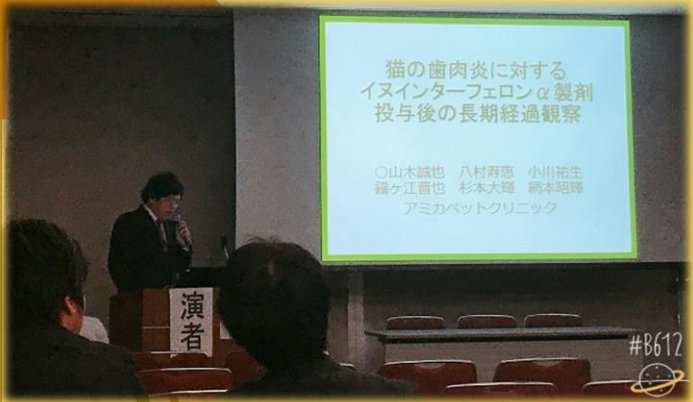
「小動物用X線装置を用いた二等分面法による歯科X線検査」

山木先生：研究発表

「猫の歯肉炎に対するイヌインターフェロンα製剤投与後の長期経過観察」



SURGEON (vol.22 No.6 2018)



発表中の山木先生

特集にあたって 網本昭輝.....

1歳未満からの歯科治療 江口徳洋.....

軽度から重度の歯周病 高橋 香.....

歯周病が局所的に重度になった疾患 網本昭輝.....

抜歯術 和田慎太郎.....

歯科治療に必要な器材 動画 本田 洋.....

歯科X線検査法 小川祐生, 山木誠也.....

先生が不在の間、患者様にはご迷惑をお掛けしました。学会で得た経験、知識を今後に活かし、より良い獣医療を提供できるよう邁進いたします。